

沖縄 ICT フォーラム in 宮古島開催報告書

日にち：2013年6月27日（木）～6月28日（金）

場所：6月27日（木） ホテルアトールエメラルド

6月28日（金） ホテルブリーズベイマリーナ

主催：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）

共催：IGF Japan、インターネット接続サービス安全・安心マーク推進協議会

参加者：140名

スケジュール：

■6月27日（木）

13:00～開場

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～14:25 「クラウドサービスと新しい情報通信技術戦略」

総務省大臣官房審議官 谷脇康彦氏

14:25～16:15 クモトーク クラウド大好き芸人(有識者)集まる！

司会：株式会社オキット 土橋(クラウド ど素人)

ゲスト：

日本電気株式会社 情報・ナレッジ研究所 所長代理 岩田 淳氏

NEC ビッグロブ株式会社 基盤システム本部 マネージャ 田口敏宏氏

NTT コミュニケーションズ株式会社 サービス基盤部 佐藤陽一氏

ヴィエムウェア株式会社 ネットワーク&セキュリティ事業部

テクニカルリーダー 進藤資訓氏

KDDI 株式会社 クラウドサービス企画開発部 主任 和田圭介氏

さくらインターネット株式会社 代表取締役 田中邦裕氏

シスコシステムズ合同会社 システムズエンジニア

ソリューションアーキテクト 早川 浩平氏

ニフティ株式会社 クラウド事業部 クラウドインフラ部 山口亮介氏

ミドクラジャパン株式会社 ジェネラル・マネージャー 中島 健氏

16:20～18:20：インターネット選挙活動の行方

公職選挙法とプロバイダ責任制限法の改正について

その実際とこれから ～参議院選挙を前に～

英知法律事務所 弁護士 森亮二氏

総務省総合通信基盤局電気通信事業部 消費者行政課係長 松本 惇氏

18:20～18:50：インターネットを安全に利用するための勘所

インターネット接続サービス安全・安心マーク推進協議会

19:00～ 懇親会

於：ホテルアトールエメラルド

※懇親会終了後にバスでホテルブリーズベイマリーナへ移動

■6月28日(金)

9:30～ 開場

10:00～11:00 沖縄、宮古島の地域ネタ

Let's おとーり！・・・宮古島市観光協会

宮古島の無線 LAN サービスに付いて・・・光宮古商事株式会社 吉岡洋平氏

11:00～12:00 IGF Japan セッション Part I 大丈夫か？日本の著作権

虎ノ門南法律事務所・・・上沼 紫野 氏(オンライン)

12:00～13:00 昼食 (ホテルランチ)

13:00～15:50 サイバーセキュリティ最前線

(1) 総務省における情報セキュリティに関する取組について

総務省 情報セキュリティ対策室 調査官 村上聡氏

(2) 本質を見抜く”目力”講座

富士通&IPA(亀山社中) 岡谷 貢氏

株式会社カスペルスキー 前田 典彦氏

(3) マルチデバイス・マルチストレージ時代のセキュリティ

マイクロソフト 高橋正和氏

(4) 宅内危機！ CPE デバイスのセキュリティ

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ) 齋藤衛氏

16:00～18:20 IGF Japan セッション Part II

インターネットを巡る諸課題への対応と日本の対応

違法情報のみならず有害情報対策を中心に

「違法・有害情報へのドメイン名レジストリの取り組み状況」

株式会社日本レジストリサービス (JPRS) 堀田 博文 氏

「パネルディスカッション」

パネラー：

英知法律事務所 弁護士 森 亮二 氏

一般社団法人 日本インディーズ振興協会 代表理事 田村 仁氏

クロストラスト株式会社 秋山 卓司 氏

リミックス映画祭&グローバルボイス日本 エディター 田中恵子氏

コーディネータ：

(一社) 日本インターネットプロバイダー協会 副会長 立石聡明氏

19:00～ 懇親会 BBQ at ホテルブリーズベイマリーナ

参加者：140名

概要：

毎年行っている「沖縄 ICT フォーラム」ですが、前回の石垣島に引き続き離島での開催となりました。そう、昨年石垣島終了後、絶対来年は那覇だねって、固く約束したのに、その年の暮れには、なぜか宮古島になっていたという。宮古島は沖縄本島から南西に約 300km、東京から約 2000km、北緯 24～25 度、東経 125～126 度に位置し、大小 6 つの島（宮古島、池間島、来間島、伊良部島、下地島、大神島）で構成されています。宮古島市の総面積は 204 平方 km、人口約 55,000 人で、人口の大部分は平良地区に集中しています。島全体がおおむね平坦で、低い台地状を呈し、山岳部は少なく、大きな河川もなく、生活用水等のほとんどを地下水に頼っています。その現状と合わせ、宮古島では地下水を守ることと環境作りのため、「エコアイランド宮古島」を宣言しています。また、毎年国際的規模のイベントである全日本トライアスロン宮古島大会、プロ野球のキャンプ、各種スポーツ団体の合宿等が行われ、島全体が「スポーツアイランド宮古島」としても活気づいています。と言うのが宮古島市の Web に掲載されていました。年平均気温は摂氏 23 度、年平均湿度は約 80%。梅雨も明けた後、宮古島市はとても暑いです。石垣島もそうでしたが、気温が高いのはそうですが、日差しが半端ではない、刺すようなそんな感じでしょうか。セミナーは午後からの開催で、開始と同時に宮古島市の副知事 長濱政治氏にご挨拶いただきました。



最初のご登壇は、朝宮古島に到着し、講演後に即お帰りにならないスケジュールで調整してきていただいた総務省大臣官房審議官 谷脇康彦氏に「クラウドサービスと新しい情報通信技術戦略」をご講演いただきました。いつもさまざまところで講演をされている谷脇氏のお話はとても参考になったと思います。

さて、今回の宮古島では「クラウド」を多方面から分析する「クモトーク」と言うのを開催しました。日本電気株式会社、NEC ビッグロブ株式会社、NTT コミュニケーションズ株式会社、ヴィエムウェア株式会社、KDDI 株式会社、さくらインターネット株式会社、シスコシステムズ合同会社、ニフティ株式会社、ミドクラジャパン株式会社とそうそうたるメンバーにそれぞれ会社の特徴、取り組み



をお話しいただき、本当に自社の製品が好きなのか？本音は何か良いと思うのか？今後他の事業者にも望む事は？等、会場を交えた意見交換のパネルディスカッションを行いました。

次に直前に控えた「ネット選挙運動」について、公職選挙法の改正点とそもそもある公職選挙法についてさえ、自分にかかわっていないとなかなか細かいことまで知らないと思います。さらにネットで選挙運動が解禁されたのが加わり、事業者はどうしたらいいのか不安な状況なのではないかと。総務省 消費者行政課の松本さんに改正点を含め、それによりプロバイダ責任制限法も変更があったので、含めてお話しいただきました。森亮二弁護士には解禁されたインターネット上の選挙活動によって予想される様々な問題点を洗い出しと解決の方策をお話しいただき、会場からの質問を多数回答いただきました。1日目最後は、インターネットを安全に利用するための勘所として、今回共催の安全安心マーク推進協議会から、協議会の概要と利用者向けの注意点等、身に覚えのない請求、個人情報の件をお話しいただきました。

1日目は半日で終了です。この後ホテルアトールエメラルドにて懇親会を行い、バスで明日の会場へと移動しました。



6月28日(金)2日目は9:30受付開始で10:00～セミナーの開始です。宮古島の地域ネタ「Let's おとーり!・・・宮古島市観光協会」の予定です。しかし!5分前電話にて、都合で行けなくなった。ついでにはブリーズベイマリーナ(本日の会場)の元商工会議所会長をした副支配人をお願いしたので。と言う知らせ。「え?今電話?え?」というわけで、間際の変更。急に頼まれた方だっただけで心の準備というものがあつたでしょう。というわけでその方も20分くらいは時間をくださいと言うことで、その間、森亮二弁護士に無茶振りして、ご登壇いただきました。JAIPAの臨時法律相談のようなもの。



それがまたとてもよくて、昨日のネット選挙関係も含めて、専門外ですが、と森先生が前置きするものがあつたりと。実質25分くらいだったかと思いますが、森先生の軽妙なトークも手伝ってほんとにこれって突然のことだったのかと思うほどの最高の講演でした。さてその25分の準備をしていただき、宮古島の人口、観光等の現状とおとーり!と言う、宮古島の飲酒の風習をご紹介いただきました。オトーリ(御通り)は、「親」となるものが立って口上を述べた後、同じ杯に酒を注ぎなおしてとなりの参加者に渡す。注がれたものはその杯を飲み干し、杯を「黙って」親に返す。「親」は、返された杯に、再度酒を注ぎ、先程飲み干した人の次の人に杯を渡す。杯を渡された人は、同じように一口で杯を干し黙って親に杯を返す。参加者に杯が一巡するまで上記を繰り返し「親」の一人手前までオトーリが回ると、「親」の手前の人は杯を干した後、その杯へ酒を満たし「親」へ返杯する。「親」はその返杯を飲み干した後、自分のオトーリへ最後まで付き合ってくれた礼を述べ、最初の「口上」で述べ足りなかったことがあればそれにも言及し、♫の挨拶を行って次の「親」を指名する。と言うものだそうです。杯を置いてはいけないとか。それを実際にやってみせていただきました。しかし、飲めない人ってどうするのでしょうか?すごい風習です。やはり宮古島の人はお酒が強いんですね。次は、もう1件共催のIGF-Japanより、「大丈夫か?日本



「大丈夫か?日本

の著作権」として、あいにく都合がつかなかったのでオンラインにて、上沼紫野弁護士にご講演いただきました。マスコミでは報じられない著作権と TPP の関係など、著作権の基本的な内容から問題点を解説していただきました。

ランチをはさんでサイバーセキュリティ最前線、一昨年あたりから毎年このシリーズをやっているのですが、このセッションは NTTPC の小山さんにご担当いただき、総務省、元防衛省、事業者と多種にわたる登壇者の方々にお話しいただきました。高度化・複雑化するサイバー攻撃など、情報セキュリティを取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するための取り組みについて総務省情報セキュリティ対策室より、国家レベルのサイバー攻撃、その背景・意図するものは何か？技術目線を越えたところにある「本質」を岡谷氏、前田氏に。毎年ご講演いただいているマイクロソフト 高橋正和氏には、「マルチデバイス・マルチストレージのセキュリティを考察」として、スマートフォンやタブレットの普及と並行して、プライベート、パブリックを問わずクラウドなどの外部ストレージの利用が広がっている。この利用法の広がりにより PC やサーバを基本とした、情報の所在がある程度特定できることを前提とした情報管理手法では、適切な対応が難しくなっています。このような利用状況を、マルチデバイス・マルチストレージ環境とし、どのようなセキュリティ上の課題があるかを整理し、対策の方向性について説明いただきました。セキュリティ関係最後は、「宅内危機！ CPE デバイスのセキュリティ」として株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ) 齋藤衛氏です。ホームルータなどの、CPE デバイスのセキュリティ的な不備を悪用した事案が増えてきており、CPE デバイスの利用者に悪影響を及ぼすだけでなく、インターネット全体に対する脅威となっている。ここでは CPE デバイスの問題が悪用された複数の事例について、その原因と被害状況、このような事例の対策の難しさを紹介していただきました。



最後に IGF Japan セッション二回目です。インターネットを巡る諸課題への対応と日本の対応として、日本における違法有害情報対策は国際的に見てもひけを取らない技術的な対応がなされているにもかかわらずあまり知られていない。国際的には「インターネットガバナンス」という言葉でネット上のあらゆる事象に対して様々な議論がなされているが、

日本ではあまりこの言葉さえ聞くことが少ないのが現状です。JPRSの堀田氏にはドメイン名レジストリとしての取り組みをご紹介頂き、日本における実際の取り組みを様々な角度から紹介し、単に後ろ向きの議論だけで無く、今後日本の発展にインターネットを如何に活用していくかに行った議論をパネルディスカッションの形で会場との意見交換を行いました。

終了後にホテルブリーズベイマリーナで、懇親会を行いました。



二日間にわたるセミナー、ふたを開けてみれば140名と多くの方に参加いただきました。忙しい中、時間を調整して来ていただいた講師の方々、そして参加者の方々ありがとうございました。毎年このセミナーを開催できるのはご協力いただいている皆様のおかげです。今後もよりよい、セミナーになるようプログラム委員ともども企画をしていきたいと思っております。「こんなセミナーを聞きたい！」等ありましたら、ぜひご連絡ください。またプログラム委員としてご協力くださる方も募集しております。(M)